

といちくだよい

11月号
november

発行責任者 / 鎌谷 一也 編集責任者 / 西村 京二 2008 (平成20年) 11月号 鳥取県畜産農業協同組合



10/20実施：若葉台小学校稲刈り

最終四半期を迎え

代表理事組合長 鎌谷 一也

世界同時不況、いな、世界恐慌ともいえる情勢となってきた。もつとも、「恐慌」といつても、経験のない私達にとつて実感できないのが現実である。ある研究でも「組合長、もう農業恐慌といつてもよい状況じゃないですか」と学者先生に言われた。確かに、相対的に暴落とまでいかないにしても、生産資材価格は急騰しているのだから、相対的に暴落、農業恐慌と言えるかもしれない。

いずれにしても、何が起るか予想が困難な時代となった。今年年頭の挨拶で「考える」と空恐ろしいほどの時代、命がけの時代だ。しかし考える、一生懸命悩み考えぬく、動く、とにかく行動に移す。…」と書いたが、まさに、餃子問題から国内自給率問題、度重なる食品問題、そして世界の経済情勢と予想だにできない厳しい情勢となっている。この中で農業・農村の情勢、そして酪農・畜産情勢は、一層深刻さを増している。バラマキではなく、本当にどうすべきか、今厳しく問われている農業政策だが、国内政治情勢がらみで不透明である。

さてどうするか。可能な限り考えていることを一生懸命準備するしかない。今年も、残るところ、2か月、生き抜き、来年に備え、組合員・職員と一緒に、考え得ることをできるだけ積み上げ、実践していきたい。

就任のあいさつ



就任のご挨拶

理事 長谷川 正

この度理事に選出頂き、同時に㈱美歎牧場を預からせて頂くことになりました、伯耆町の長谷川正です。よろしくお願ひします。

私は農業と言ふ言葉よりは「百姓」と言ふ言葉が好きです。百姓とは百の姓（かばね）を持つという意味があり、百の仕事ができ、百の生き方ができるという意味だそうです。それは身の回りのことを、すべてまかなうことのできる知恵を尊ぶ気持ちが進められていると思っております。今、エネルギーや食糧の価格変動で、世界経済も我々畜産農家も大きな影響を受けています。飼料高・資材高で厳しい経営状況は皆が同じです。こんな時だからこそより皆が結束し、地域の田畑や山林などの地域資源を見直す時だと思います。

さらに㈱美歎牧場につきましては、財務の改善と組織の統制をしっかりと行い、組合の発展に努め、次の世代へ引き継いで行けるように頑張りたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。



就任のご挨拶

理事 小椋 雅晴

組合員の皆様、こんにちは。今年度より当組合の理事に就任しております小椋雅晴です。任期間中、微力ではありますが、努力して参りたいと思ひます。

さて、私は三十年間、大山乳業の役員として過ごしてきましたが、当組合については、その前身も含めて、特別な思い入れがあります。紆余曲折はありましたが、一組合と成り、今日が有ることを嬉しく思っております。

組合に加入した当初から感じたことが有ります。自分も含めてですが、私の周りの組合の多くが、組合運営に対して、関心が希薄な気がするのです。加入して日が浅いのも一因かとも思われますが、せめて、一年一度の総会には出席することが組合員としての責務であると思ひます。出席者の少ない総会ほど淋しく将来を憂うのは、私だけでしょうか？次期総会は、ぜひ、出席して下さい。

政界の経済が大きく動いている昨今、我々、酪農家は本当に大変な時です。私自身、ただ働きの上、貯えも底をついてきました。でも経済はいつも動いています。近い将来きつと良くなると信じて、生き残りをかけて頑張りますよ。

事故米を食用に転用

三笠フーズ（大阪市）などが工業用の「事故米」を食用に転売し、焼酎などで使われていたことがわかりました。生産調整するほど米が余っているのに、なぜ不正が起きたのでしょうか。

事故米は残留農薬やカビ毒などで汚染されたコメで、接着剤（のり）など食用以外に限定し販売します。その際食用に混ぜられないよう米粒を砕くなどします。

今回問題となった事故米の主な転売先は加工用米向けでした。せんべいなど米菓、みそ、焼酎など加工食品の原材料です。その加工用米が品薄で高騰していることが問題の背景にあります。

なぜ品薄かというと、まず天候です。ここ数年、コメの生産は天候に恵まれて好評です。しかし、加工用米は逆に豊作だと発生が減る傾向があるのです。

農家の安値の加工用米を作ろうと作っているわけではありません。悪天候で粒が小さいなど規格外のくず米になったものなどが結果的に加工用に回るのです。今年も豊作予想で、くず米不足となる見込みです。

加工用の輸入米も国際価格の高騰で調達が難しくなっています。輸入のトウモロコシの高騰で家畜飼料原料として注目する資料業界との競合も激しくなっています。

このため、くず米は東北産の場合、八月の東京・卸業者間取引で二年前の二〇〇六年八月より六四%も高い1kg当たり百十八円中心です。これに対し、主食用としては安値の青森産むつほまれは二百十七円前後と同〇・二%安くなっています。

食品メーカーはのどから手が出るほど加工用米が欲しい状況です。

本来なら一キロ七円前後でしか売れない偽装事故米が付け入るスキはこうして生まれたと見られます。

偽装転売のうち輸入米はミニマムアクセス（MA）米と呼ばれます。多国間での農業貿易交渉の結果、納過保護の高関税（一キロ三百四十一円）維持と引き換えに、最低限の輸入機械を設ける制度で、すべて農水省（食料庁）が総合商社などを通じて買います。

国産と品種が違う長粒種は焼酎づくりにも好まれるため、転売先として狙われました。

もちろんMA米も食品衛生法の下で輸入時に有害物質を検査します。見つければ返品、廃棄（償却）のほか、事故米としての販売も可能でした。返品や償却は経費がかかるため、農水省は工業用に売って損失を減らそうと考えたようです。

しかし、制度を悪用し食の安全・安心を脅かす不正転売が起きた以上、検査・監督の強化など、抜本的な見直しが必要です。

尚、この事件は、先に発生した食に係る様々な偽装事件を全く教訓としない悪質極まりない事件となりました。そして、この事件の抱える問題は、被害者が購入して食した消費者のみならず、複雑な販売ルートの中で商品の違法性を知らされず購入・転売（製品化）した業者もそれに該当する点にあります。

この問題は決して対岸の火事ではなく、当組合においても、加工商品・惣菜を扱う以上、この様な事件の被害者になる可能性は決して否定できません。ただ、今後類似した事件が発生した際に、被害者にならないためには予防原則に徹し、厳密なメーカー（仕入先）選定を行うことは不可欠です。それは、単に自らの保身を行うためではなく、その先にいる消費者の安心・安全を保障する立場として最新の注意を払っても、払いきらないこととはないと考えるためです。

（平成20年9月20日発行 日本経済新聞参考・引用）

スモール価格の改定について

東部・伯耆哺育センター運営に当りスモール価格の改定を下記の通りに致しますので、
今後とも、集荷等におきまして、ご協力お願いお願い致します

1. 改定期日 平成20年10月15日生まれの子牛から対象

2. 価格(税別)

種別	規格	ランク	旧価格	新価格
牝	登録(証明書有り)	A	30,000円	30,000円
	フリーマーチン		5,000円	5,000円
牝	40k~55k	A	30,000円	30,000円
	35k~39k	B	15,000円	15,000円
F I	35k~50k	A	35,000円	35,000円
	30k~34k	B	20,000円	20,000円
F I	35k~50k	A	70,000円	60,000円
	30k~34k	B	50,000円	40,000円

注意事項	
	A・Bクラス以外については、別途協議とします
	集荷体制.....・冬場については8日以上15日以内とする
	集荷できない場合...下痢または、疾病牛について後日協議集荷
	授精証明書..... F 1つき基金加入の為必要書類とする
	ホル雌 A...・登録可能なもの(集荷時授精証明書添付の事)
	その他...・都度協議(ヘルニア等含む)
	集荷日程.....・毎週月・木曜日(東部・西部共通)
	体重不足.....・集荷日より1週間後に集荷のこと
	受精卵産子については、別途協議し斡旋いたします。

注意 価格の変更について・・・価格の変動により急に改訂がある場合があります。

スモール価格情勢

8月5日	4	38,325	35	25,680	38	45,012	33	72,736
8月11日	4	14,175	16	30,713	12	43,488	18	71,400
8月19日	0	0	21	24,250	25	32,970	30	63,770
8月26日	4	22,838	19	29,289	35	34,230	35	71,430
平均	12	18,835	91	27,483	110	38,925	116	69,834
9月2日	2	5,250	21	29,050	29	42,471	27	64,322
9月9日	4	7,613	22	28,541	28	33,225	18	83,183
9月16日	2	3,150	24	28,774	28	37,688	13	60,335
9月24日	2	2,100	47	24,038	43	36,823	34	69,640
9月30日	5	11,550	43	26,445	18	32,142	22	61,616
平均	15	5,933	157	27,370	146	36,470	114	67,819
10月7日	1	8,400	43	23,442	22	24,675	26	49,794
10月14日	0	0	51	22,359	33	31,309	32	60,867
10月21日	1	5,250	18	24,033	34	27,856	30	50,015
10月28日	1	5,250	45	20,043	32	30,023	28	61,013
平均	3	4,725	157	22,469	121	28,466	116	55,422

前年10月

平均	13	12,968	158	25,471	139	50,973	149	86,832
----	----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

スモール

8月から10月にかけてスモール価格等が急激的に安値となっている状況であり値下がり
の要因としては、粗飼料・配合飼料・資材費等の値上がりが考えられる事と併せて、大幅
な枝肉相場の回復は難しいと思われる。このようなことからスモール価格については、横
ばいもしくは若干の上げ下げ相場が続くと思われる。

東部・西部地区各哺育センターの集荷状況については、8月から10月にかけて300頭
以上を上回る頭数の集荷となっています。今後の集荷に際しては、集荷頭数の増にあわせ
施設を増築等を実施していますが追いつかない状況です、組合員皆様には大変迷惑をかけ
ることがありますのでご理解をいただきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。



キャンペーン 抽選で当たる!!

試食はいかがですか!!

「トプ鳥取牛」こだわり京都キャンペーン

営業部 漆原 恵子

京都生協の組合員さんへの鳥取牛キャンペーンが、10月4日、5日の土・日から始まりました。12月の7日、8日の最終日までの間に、京都生協様の全店をまわって、鳥取牛をさらに売り込んでいこうという取り組みで、土・日を中心に、サーロインステーキや、ロースステーキの試食宣伝を行い、鳥取牛の味を知ってもらい、少しでも購買意欲につなげていこうというものです。

まず、第一陣が4名出かけ、10月4日に京田辺店、なかおか店、5日は、男山店と城陽店へ、1店舗2名ずつの配置で試食宣伝を行いました。

この日は、サーロインステーキの試食で来店された方々に、とにかく鳥取牛を食べて頂くということで、サイコロ状に切ったステーキをホットプレートで焼き、塩コショウで味付けして、積極的に大きな声での声かけをしてお肉を食べていただいた方、お肉を買っていただいた方等にキャンペーンの内容（鳥取牛シールを3枚、応募シールに貼って応募してもらうとお肉のセットや、ステーキ用ブロック、鳥取牛グッズ等が抽選で当たるといったもの）飼料稲の取り組みやTMRの工サの取り組みの内容等を説明し、安心して信頼できるお肉だということを理解してもらいました。今回は予想を上回る勢いで販売を伸ばしていきましました。

「お肉を買うなら、いつも鳥取牛しか買わないわよ」とか「鳥取のお肉は安心して食べられるからね」と言う声を聞くと、うれしくなって、とても励みになります。とはいうものの、やはりこの不況の折、飼料代の高騰等々で、お肉の小売価格も値上げされたわけですが、消費者の財布の紐は予想以上に固く、ステーキの売り上げパッケ数よりも、切り落しの売り上げパッケ数の方が、多いというのが現実です。この苦境を乗り越える為、少しでも多くの組合員の方々に、ステーキでも切り落しでもパッケでもたくさん鳥取牛を利用していただける様、取組んでまいります。

鳥畜畜魂祭・第4回ジゲ畜産ふれあいまつり

来る10月19日、鳥畜畜魂祭第4回ジゲ畜産ふれあいまつりが、晴天に恵まれ開催されました。来賓の方々、組合員のみなさん、日頃お世話になっている方々に多数来ていただき、誠にありがとうございました。

ジゲ畜産ふれあいまつりでは鳥取市に協賛いただき、鳥取鶏卵、東伯ミート、大山ハム、郡家開発センター、大山乳業、ふれあい協議会の模擬店で協力いただきました。イベントとしましては、和太鼓によるセレモニーから始まり、鎌谷組合長あいさつ、来賓の方々のあいさつ、アイスクリーム早食い競争、風船飛ばしはしはしが、予想以上の来場者多数のため、風船が早い時間に終わってしまい、シャボン玉飛ばしに変更になり、梅干の種飛ばし、乳搾り競争といろいろなイベントがありました。

晴天に恵まれた反面、模擬店のほうでなかなか作業がうまくいかずお客様には大変ご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。来年以降も鳥畜畜魂祭、ジゲ畜産ふれあいまつりは行う予定にしておりますので、今回の教訓を活かして、スムーズに進めていけるよう心がけていきたいと思っております。来年もぜひご来場いただきますよう、よろしくお願ひします。



大行列！！いつ買えるのかな...



シャボン玉飛ばし きれいだなあ

稲刈りがんばったよ！

毎年恒例行事の若葉台小学校との田植えに続き、稲刈りが10月20日午後1時40分ごろ行われました。

今年は五年生児童109名と引率の先生3名、そして校長先生、環境大学の学生4名、中国人研修生3名、そして組合員の女性部の方4名の皆様にご協力お世話になり、大変ありがとうございました。

恵まれた天候でしたが、午後一時頃一時的に雨が降り行事が行えるか不安でしたが、日頃の行いのおかげで天候が持ち直し、何とか無事稲刈りが出来ました。鎌谷組合長指導の下、児童生徒のみならず、刈る人、集めて束を作る人、持って行く人と役割を決め交代しながら、一生懸命作業をしていました。児童の中から「僕は家からも手伝っているから簡単だ！」などという声も聞かれ、微笑ましく思い感心しました。最後にごほうびの美歎牧場アイスクリームをみんなでおいしく食べました。できたお米は、冬に行われる餅つき大会で、おいしいお餅にして食べましょつ。



10月の主な日程

日付	行事
10月2日	夕礼
10月4・5日	京都キャンペーン
10月18日	産直フェスタ
10月19日	鳥畜畜魂祭 畜産まつり
10月20日	若葉台小学校稲刈り
10月21日	食肉委員会
10月22日	総務委員会

10・11月の主な日程

日付	行事
10月23日	ISO全体集会
10月28日	理事会

日付	行事
11月3日	夕礼
11月13日	ISO全体集会



死亡牛価格改定について

遅くなりましたがお知らせ致します。
10月1日より死亡牛の価格が以下のように改定になりました。

	旧価格	新価格	内訳
24ヶ月齢以上	47,900円	50,200円	処理料33,075円、保管料4,000円 運賃(鳥畜運搬の場合)13,125円
24ヶ月齢未満	24,300円	29,550円	処理料16,425円 運賃(鳥畜運搬の場合)13,125円
3ヶ月齢未満	18,000円	21,675円	処理料8,550円 運賃(鳥畜運搬の場合)13,125円

★運賃については、変更ありませんので、現状どおりでお願い致します。
なお、中西部地区の運賃につきましては実情によって下さい。

編集後記

すっかり朝晩が寒くなってきました、秋を感じる今日この頃です。
今回、人生初めて取材・編集・発行作業をして、改めて情報誌の発行の難しさを痛感しております。今まで何の気なしに見ていた情報誌、雑誌など、多種多様な出版物がありますが、そのひとつひとつに編集している方がおられるのかと思うと、手に取るチラシ一つにも感慨深くなる今日この頃です。早く慣れる事と、初心を忘れないよう努力していきたいと思えますので、よろしくお願ひします。
尚、末筆になりましたが、とりちくだよりの発行が遅れましたことを心より深くお詫び申し上げます。

お問い合わせ先

鳥取県畜産農業協同組合

住所：鳥取市若葉台南7丁目108-12
Tel：0857-52-1129
Fax：0857-52-1131
e-mail：toriciku@infosakyu.ne.jp
HP：http://www.infosakyu.ne.jp/toriciku/